

令和 4 年度第 3 回総合評価委員会

技術提案評価結果について

件名「統合水道料金システム構築及び運用保守業務」

令和 4 年 9 月 6 日
経営管理部広域調整課

1. はじめに

[事業概要]

現在、13水道センターの水道料金システムは、統合前の各市町村のシステムを引き継いで使用していることから仕様が統一されておらず、また、経年化に伴い、新たにシステムの再調達が必要な状況にある。

そこで、営業業務の標準化を図ることにより、各水道料金システムを1つに集約した統合水道料金システムを構築する。

(ポイント)

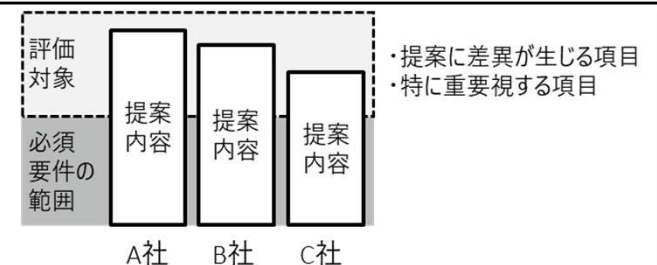
- 業務標準化案に基づく**効率的な業務運用**
- インターネットによる使用開始・中止の受付等の**お客様サービスの向上**
- **将来の水道事業の増加に対応できる拡張性**等の観点からの技術提案を求め、技術力と価格の両面から最も優れた者を落札候補者として決定する。

(総合評価落札方式)

総合評価点 (1000点満点) = 技術点 (700点) + 価格点 (300点)

[評価項目の設定の考え方]

- 調達仕様書（機能要件含む）に記載の要件は全て必須であり必ず実現する。
→ **各社の提案に差異が生じる項目**や**特に重要視する項目**について付加価値のある提案を求め、評価する。
- 新規統合水道事業に係る概算費用についても、技術審査の対象として評価する。



2. 提案内容の特徴

[提案の概要]

A社	B社
<ul style="list-style-type: none">• パッケージの機能面が充実• システム構築・運用保守業務は高評価• EUCツールによる帳票出力、集計機能等の高い操作性• 職員ごとの詳細なアクセス制御、ランサムウェア感染防止等の高度なセキュリティ対策を提案• 第三者認証取得数、導入実績が豊富• スマホを活用したお客様サービスの向上に関する提案	<ul style="list-style-type: none">• パッケージの機能面が充実• システム構築・運用保守業務は高評価• スマートフォン型ハンディターミナルによるリモートアクセスを提案• 機能改善要件で期待以上のプログラム改修時間を提案• 業務効率化に資するシステム機能を提案

[総評]

- 業務機能の充実度・操作性等の機能面、可用性・セキュリティ等の非機能面は両者とも高評価であり、どちらの業者も企業団の求める要件を満たしている。

- ✓ 効率的な業務運用が可能
- ✓ お客様サービスの向上
- ✓ 拡張性の高いシステムを実現
- ✓ 充実したセキュリティ対策

(補足)

- 技術提案で付加価値の高い提案を求めたところ、有益な提案もあったが、期待していた内容には及ばなかった。
- 新規統合水道事業の概算費用は両者とも高額であった。
- 評価結果は、A社がB社を39点上回った。
(「第三者認証の取得数」、「導入実績数」、「お客様サービスの向上」に関する提案において、A社がB社を40点上回った)

3. 評価内容（抜粋）

凡例
◎：期待以上の提案内容
○：概ね期待どおりの提案内容

小項目	得点配分			A社			B社		
	上限 配点	比 重	素点 合計	採 点	素点 合計	提案内容	採 点	素点 合計	提案内容
1.2.3 システム機能の 実現方法	5	5	25	4	20	◎滞納者の名寄せ管理が可能 ◎EUC専用仮想サーバにより前日夜間時点のデータを参照 ◎EUCツールによるExcel・帳票出力、汎用集計機能等の高い操作性 ○ハンディターミナルにより現地で滞納者の情報照会、領収書発行が可能	3	15	◎滞納者の名寄せ管理が可能 ◎EUC機能では、前日夜間時点のデータに加え、リアルタイムデータの抽出も可能 ○スマートフォン型ハンディターミナルにより滞納者からの集金、領収書発行が可能
1.3.4 セキュリティ	5	5	25	4	20	◎ユーザごとに権限グループを設定し、その権限グループにアクセス権を設定することで、詳細なアクセス制御を実現 ◎バックアップストレージが備えるデータのクローン作成機能によりランサムウェアの感染、人為的ミスによるデータ損失を防止 ◎運用保守作業における作業証跡管理、監査を実施 ○「情報セキュリティインシデント対応手順書」を作成し、インシデント発生時はこれに基づいて対応を実施	3	15	◎iDCと各拠点に設置するFWにおいてIPS/IDS機能を有効化し、不正アクセスを検知/遮断 ○スマートフォン型ハンディターミナルは専用SIMで閉域網を経由してアクセス可とし、MDM（Mobile Device Management）で機能制限 ○セキュリティインシデント発生時は各種ログ・操作履歴を調査し、状況に応じた対処（対象機器のネットワークからの切断、利用機能・利用ユーザーの特定等）を実施
1.3.5 ハードウェア・ネットワーク要件	5	3	15	3	9	○耐障害性を有する信頼性の高い閉域網を採用	4	12	◎スマートフォン型ハンディターミナルからリモートアクセスが可能 ○設備の二重化等による信頼性の高い閉域網を採用

3. 評価内容（抜粋）

小項目	得点配分			A社			B社			
	上限配点	比重	素点合計	採点	素点合計	提案内容	採点	素点合計	提案内容	
1.4.8	機能改善要件	5	4	20	3	12	○軽微なプログラム改修は年間456時間を見込んでいる	4	16	◎ <u>軽微なプログラム改修は年間6人月程度（約960時間）を見込んでいる</u>
2.1.2	第三者認証	5	2	10	5	10	<u>3つ取得</u> - プライバシーマーク - ISO/IEC27001 - ISO9001	3	6	2つ取得 - プライバシーマーク - ISO/IEC27001
2.2.1	提案事業者の導入実績	5	3	15	5	15	広域水道事業者又は給水人口10万人以上の事業者への導入実績が <u>11件</u>	3	9	広域水道事業者又は給水人口10万人以上の事業者への導入実績が5件
3.1.1	利用者への情報等の提供	5	5	25	3	15	◎ <u>スマホアプリの登録者に対し、PUSH型の使用水量のお知らせ通知等によるペーパーレス化が可能</u>	0	0	提案なし
3.1.2	利用者からの情報等の受付	5	5	25	3	15	◎ <u>汎用申込機能を利用することにより来庁予約、名義変更等の様々な申込に対応可能</u>	0	0	提案なし
3.2.1	業務効率化に資するシステム機能	5	4	20	3	12	◎スマホアプリの登録者に対し、使用水量のお知らせの電子化による投函作業の削減、料金システムからお知らせの発信が可能	4	16	◎ <u>当日の予定、未実施の状況が把握可能、Excelを利用した検索機能が充実</u> ◎ <u>複数の開始申込が登録可能</u>
4.1.1	新規統合水道事業に係る費用	5	20	100	0	0	提案金額 / 想定金額 = 144% (>95%)	0	0	提案金額 / 想定金額 = 98% (>95%)

4. 評価結果

評価項目				得点配分					A社				B社				
大項目	中項目	小項目		上限 配点	比重	素点 合計	中項目 計	大項目 計	採点	素点 合計	中項目 計	大項目 計	採点	素点 合計	中項目 計	大項目 計	
1	調達仕様書要件 に対する提案	1.1	本業務に対する 理解	1.1.1	本業務の背景・目的についての理解	5	2	10	20	3	6	12	3	6	12	239	
				1.1.2	提案の概要及び特徴	5	2	10									
	1.2	機能要件	1.2.1	システムの全体像	5	2	10	85	3	6	63	4	20	3	6		58
			1.2.2	複数水道事業の管理方法	5	5	25										
			1.2.3	システム機能の実現方法	5	5	25										
			1.2.4	関連システム及び事業者との連携要件	5	3	15										
			1.2.5	システムの操作性	5	2	10										
	1.3	非機能要件	1.3.1	信頼性・可用性	5	3	15	85	3	9	56	3	9	3	9		54
			1.3.2	保守性・拡張性	5	3	15										
			1.3.3	性能	5	3	15										
			1.3.4	セキュリティ	5	5	25										
			1.3.5	ハードウェア・ネットワーク要件	5	3	15										
	1.4	業務委託要件	1.4.1	構築スケジュール	5	3	15	175	4	12	111	4	12	4	12		115
			1.4.2	プロジェクト管理要件	5	4	20										
			1.4.3	要件定義・設計・構築・テスト要件	5	4	20										
			1.4.4	移行要件	5	5	25										
			1.4.5	研修要件	5	2	10										
			1.4.6	運用要件	5	4	20										
			1.4.7	保守要件	5	4	20										
1.4.8			機能改善要件	5	4	20											
1.4.9			附随する業務要件	5	5	25											
2	提案者に関する 情報	2.1	業務推進体制	2.1.1	業務推進体制・責任者（構築、運用保守）	5	3	15	60	3	9	40	3	9	36	45	
				2.1.2	第三者認証	5	2	10									
				2.1.3	社内制度・規定等	5	3	15									
				2.1.4	企業団と事業者との役割分担/ 作業分担（構築）	5	2	10									
				2.1.5	企業団と事業者との役割分担/ 作業分担（運用保守）	5	2	10									
2.2	導入実績	2.2.1	提案事業者の導入実績	5	3	15	15	5	15	15	3	9	9				
3	3.1	お客様サービスの 向上	3.1.1	使用者への情報等の提供	5	5	25	50	3	15	30	0	0	0	70		
			3.1.2	使用者からの情報等の受付	5	5	25										
	3.2	企業団職員の 業務効率化等	3.2.1	業務効率化に資するシステム機能	5	4	20	60	3	12	36	4	12	40			
			3.2.2	業務効率化に資する業務支援	5	4	20										
			3.2.3	業務品質の向上	5	4	20										
	3.3	その他、有益な 提案	3.3.1	災害時の業務継続性	5	5	25	50	3	15	30	3	15	30			
3.3.2			将来に向けた効率的なシステムの運用	5	5	25											
4	新規統合水道 事業に係る費用	4.1	新規統合水道 事業に係る費用	4.1.1	新規統合水道事業に係る費用	5	20	100	100	100	0	0	0	0	0	0	
合計（得点率）						700			393 (56.1%)				354 (50.6%)				